

夏休み号



北っ子だより



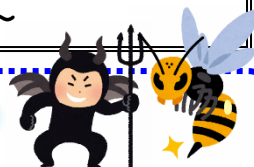
令和8年7月17日

松原市立松原北小学校

～笑顔でつながる 一人ひとりが認め合える 学校～



ふわふわ言葉とちくちく言葉



先日、子どもたちにふわふわ言葉とちくちく言葉について話をしました。ふわふわ言葉からは、なんだか暖かい、やわらかい、ほっとするようなイメージが感じられると思います。一方、ちくちく言葉はなんだか痛いような、ささるような冷たい感じが伝わります。具体的なふわふわ言葉としては「がんばれ。」「だいじょうぶ。」「ありがとう。」「どんまい。」などがあります。一方、ちくちく言葉は「うるさい。」「だまれ。」「きもい。」「死ね。」「殺すぞ。」などがあります。松原北小学校の子どもたちはふわふわ言葉を日常的にたくさん使っているように感じます。しかし、ちくちく言葉もつかっている姿を見かけます。子どもたちはどこでちくちく言葉を学んでしまうのでしょうか。おそらくネットやゲームの影響が大きいのではないかと感じます。動画の中で配信者が言っている言葉、ゲームで失敗したり、うまくいかなかったときに思わず口走る言葉、それらを日常の学校生活で使ってしまうのではないかと思います。ドッチボールで負けそうになったり、鬼ごっこで捕まってしまうたり、うまくいかにイライラした時などに思わず目の前の相手にも使ってしまうのでしょうか。われわれ大人であれば理性が働き、言葉を選ぶ場面でも、子どもたちは目の前の相手にそのままぶつけてしまいます。それらのちくちく言葉が口ぐせのようになってしまっている場合もあるようです。学校では子どもたちにちくちく言葉を使わずにふわふわ言葉を使おうと呼びかけています。思い通りにならなかったり、腹が立った時に相手を攻撃してしまうちく

ちく言葉ではなくふわふわ言葉で自分の気持ちを伝えようと言っています。もちろん、われわれ教職員もふわふわ言葉で子どもたちに語り掛けるように心がけていきたいと思います。

ふわふわ言葉で包まれた空間はみんなが安心できる場所となります。学校や教室がそんな安心できる空間であってほしいと願います。

明日より夏休みが始まります。ご家庭で子どもたちに声をかけるとき、ぜひ、たくさんのふわふわ言葉ではなしかけてあげて下さい。

校長 荻田 洋一

ちくちく言葉と

ふわふわ言葉



ちくちく言葉はNGワード
あいて こうげき する 言葉



ふわふわ言葉はOKワード
じぶん きもち った 言葉

言語能力をばぐむモデル校事業



【作品展について】

夏休みの作品の展示をします。ご都合がよろしければご参観ください。

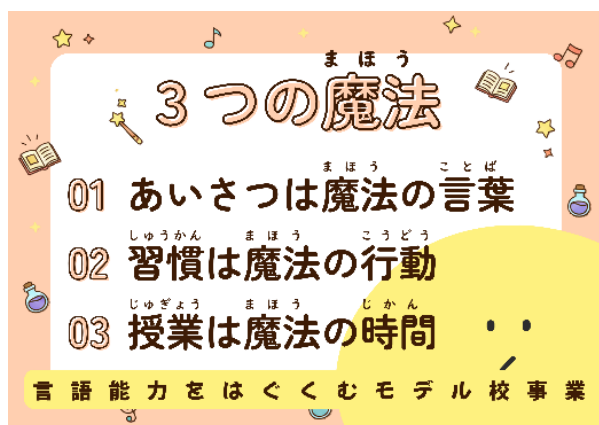
日程：8月31日(火)～9月2日(木) 時間：午後2時～5時まで

場所：ランチルーム

※保護者証、上ばきを持参ください。



6月号より



7月号より

